

# **平成24年度全国学力・学習状況調査結果**

## **資料**

**平成24年8月**

**高知県教育委員会事務局**

### [調査結果の解釈等に関する留意事項]

本調査は抽出調査であり、各都道府県（公立）の教科に関する調査については誤差±1%程度の精度となるように標本抽出が行われているため、推計値である集計値については、全国（国・公・私立）の教科に関する調査及び児童に対する質問紙調査については誤差±0.2%程度、学校質問紙調査については誤差±1%程度並びに各都道府県（公立）の教科に関する調査については誤差±1%程度の精度となっていることも留意することが必要である。

本調査の結果においては、国語A・B、算数A・B、理科ごとの平均正答数、平均正答率等の数値を示しているが、平均正答数、平均正答率のみでは必ずしも調査結果のすべてを表すものではなく、平均正答率の95%信頼区間、中央値、標準偏差等の数値や分布の状況を表すグラフの形状など他の情報と合わせて総合的に結果を分析、評価することが必要である。また、個々の設問や領域等に着目して学習指導上の課題を把握、分析し、児童生徒の学習改善や学習意欲の向上につなげることも重要である。

### [用語説明]

平均正答率の 95%信頼区間	95%の確率で、全員を対象とした調査（悉皆調査）の場合の平均正答率が含まれる範囲のこと。
-------------------	--

※平成24年度 全国学力・学習状況調査 【小学校】調査結果概要（平成24年8月 文部科学省・国立教育政策研究所）より引用

# 平成24年度 全国学力・学習状況調査の結果について

平成24年8月  
高知県教育委員会

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

- ◇ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ◇ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

### (2) 実施日 平成24年4月17日（火）

### (3) 調査内容

- ◇ 抽出調査対象校の小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒を対象
- ◇ 教科に関する調査は、国語、算数・数学、理科を出題
- ◇ 主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を出題  
また、生活習慣・学習環境等に関する質問紙調査を実施

### (4) 県内（公立学校）の参加状況（抽出調査対象校）

#### ◇ 参加学校数

公立小学校102校

※特別支援学校（小学部）2校を含む

公立中学校88校

※特別支援学校（中学部）2校を含む

公立小・中学校合計学校数190校

#### ◇ 小学校解答（回答）児童数

国語A	3, 115名	国語B	3, 115名
算数A	3, 116名	算数B	3, 114名
理科	3, 112名		
児童質問紙	3, 109名		

#### ◇ 中学校解答（回答）生徒数

国語A	3, 956名	国語B	3, 954名
数学A	3, 952名	数学B	3, 951名
理科	3, 951名		
生徒質問紙	3, 955名		

## 2 教科に関する調査結果の比較

### 小学校

		平均正答率(%)		全国と高知県 の差	
		高知県(公立)	全国(公立)		
国語	A	平成24年度	82.1(81.5~82.7)	81.6(81.4~81.7)	0.5
		平成23年度	81.0		
		平成22年度	82.8(82.2~83.5)	83.3(83.2~83.5)	-0.5
		平成21年度	68.5	69.9	-1.4
		平成20年度	65.0	65.4	-0.4
		平成19年度	81.7	81.7	0.0
	B	平成24年度	53.4(52.4~54.3)	55.6(55.4~55.8)	-2.2
		平成23年度	44.3		
		平成22年度	78.1(77.2~79.0)	77.8(77.7~78.0)	0.3
		平成21年度	49.5	50.5	-1.0
		平成20年度	47.7	50.5	-2.8
		平成19年度	60.0	62.0	-2.0

		平均正答率(%)		全国と高知県 の差	
		高知県(公立)	全国(公立)		
算数	A	平成24年度	74.7(73.9~75.6)	73.3(73.1~73.5)	1.4
		平成23年度	82.3		
		平成22年度	75.3(74.3~76.3)	74.2(74.0~74.4)	1.1
		平成21年度	76.4	78.7	-2.3
		平成20年度	72.6	72.2	0.4
		平成19年度	81.6	82.1	-0.5
	B	平成24年度	58.1(57.1~59.1)	58.9(58.7~59.1)	-0.8
		平成23年度	46.2		
		平成22年度	48.2(47.2~49.2)	49.3(49.1~49.5)	-1.1
		平成21年度	52.1	54.8	-2.7
		平成20年度	49.3	51.6	-2.3
		平成19年度	60.7	63.6	-2.9

		平均正答率(%)		全国と高知県 の差
		高知県(公立)	全国(公立)	
理科	平成24年度	59.6(58.8~60.4)	60.9(60.8~61.1)	-1.3

### [参考]

		平均正答率(%)		全国と高知県 の差
		高知県(公立)	全国(公立)	
理科A		70.2	69.1	1.1
理科B		55.3	57.6	-2.3

※平成22・24年度は抽出調査のため、平均正答率の推計値で示している。

( )の数値は平均正答率の95%信頼区間を示している。

※平成23年度は全国学力・学習状況調査問題を活用した希望利用調査の結果を示している。

中学校

		平均正答率(%)		全国と高知県 の差	
		高知県(公立)	全国(公立)		
国語	A	平成24年度	72.5(71.8~73.1)	75.1(75.0~75.2)	-2.6
		平成23年度	78.5		
		平成22年度	72.6(72.0~73.3)	75.1(75.0~75.2)	-2.5
		平成21年度	74.2	77.0	-2.8
		平成20年度	70.0	73.6	-3.6
		平成19年度	78.1	81.6	-3.5
	B	平成24年度	61.6(60.9~62.3)	63.3(63.2~63.4)	-1.7
		平成23年度	61.0		
		平成22年度	61.0(60.0~62.1)	65.3(65.1~65.5)	-4.3
		平成21年度	69.8	74.5	-4.7
		平成20年度	54.7	60.8	-6.1
		平成19年度	64.0	72.0	-8.0

		平均正答率(%)		全国と高知県 の差	
		高知県(公立)	全国(公立)		
数学	A	平成24年度	58.3(57.4~59.2)	62.1(62.0~62.3)	-3.8
		平成23年度	54.3		
		平成22年度	59.5(58.3~60.7)	64.6(64.4~64.8)	-5.1
		平成21年度	56.5	62.7	-6.2
		平成20年度	54.5	63.1	-8.6
		平成19年度	62.8	71.9	-9.1
	B	平成24年度	45.4(44.3~46.6)	49.3(49.2~49.5)	-3.9
		平成23年度	45.2		
		平成22年度	36.6(35.4~37.9)	43.3(43.1~43.5)	-6.7
		平成21年度	49.7	56.9	-7.2
		平成20年度	41.5	49.2	-7.7
		平成19年度	50.6	60.6	-10.0

		平均正答率(%)		全国と高知県 の差
		高知県(公立)	全国(公立)	
理科	平成24年度	47.3(46.5~48.0)	51.0(50.9~51.1)	-3.7

[参考]

		平均正答率(%)		全国と高知県 の差
		高知県(公立)	全国(公立)	
理科A		51.8	56.1	-4.3
理科B		44.4	47.8	-3.4

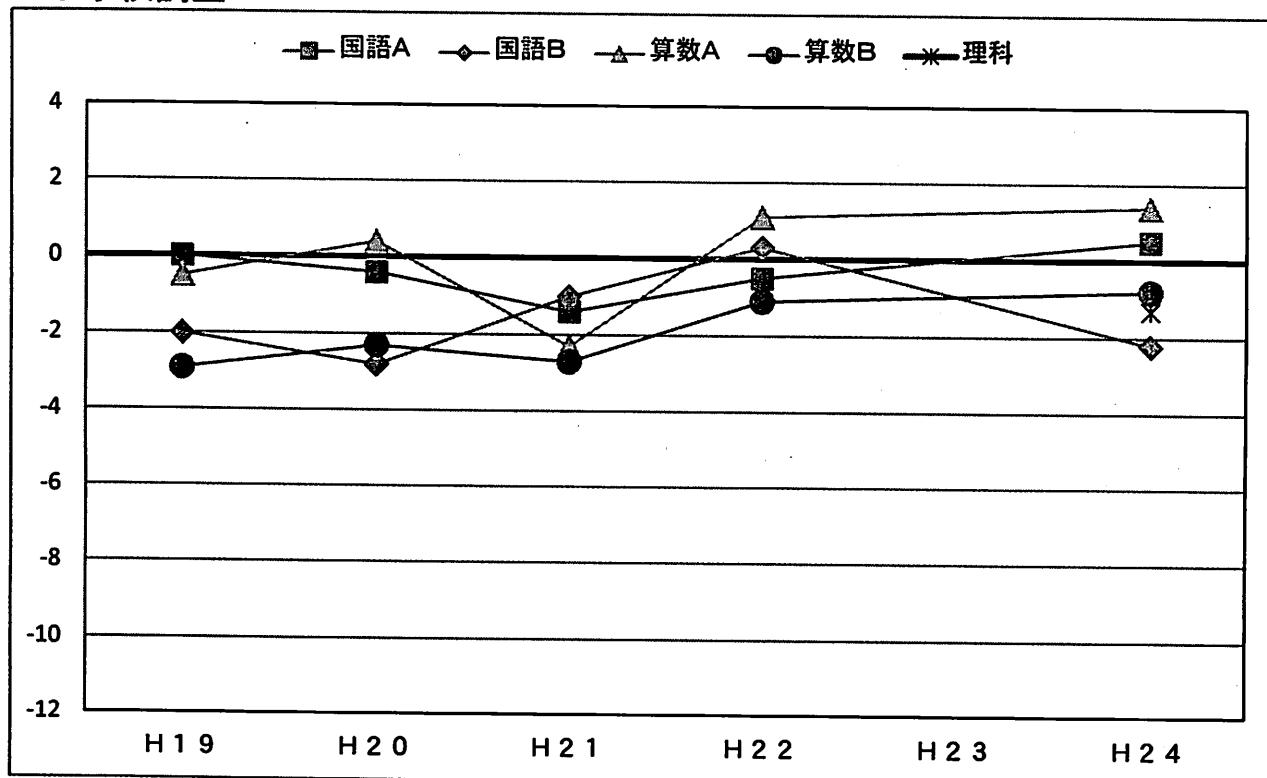
※平成22・24年度は抽出調査のため、平均正答率の推計値で示している。

( )の数値は平均正答率の95%信頼区間を示している。

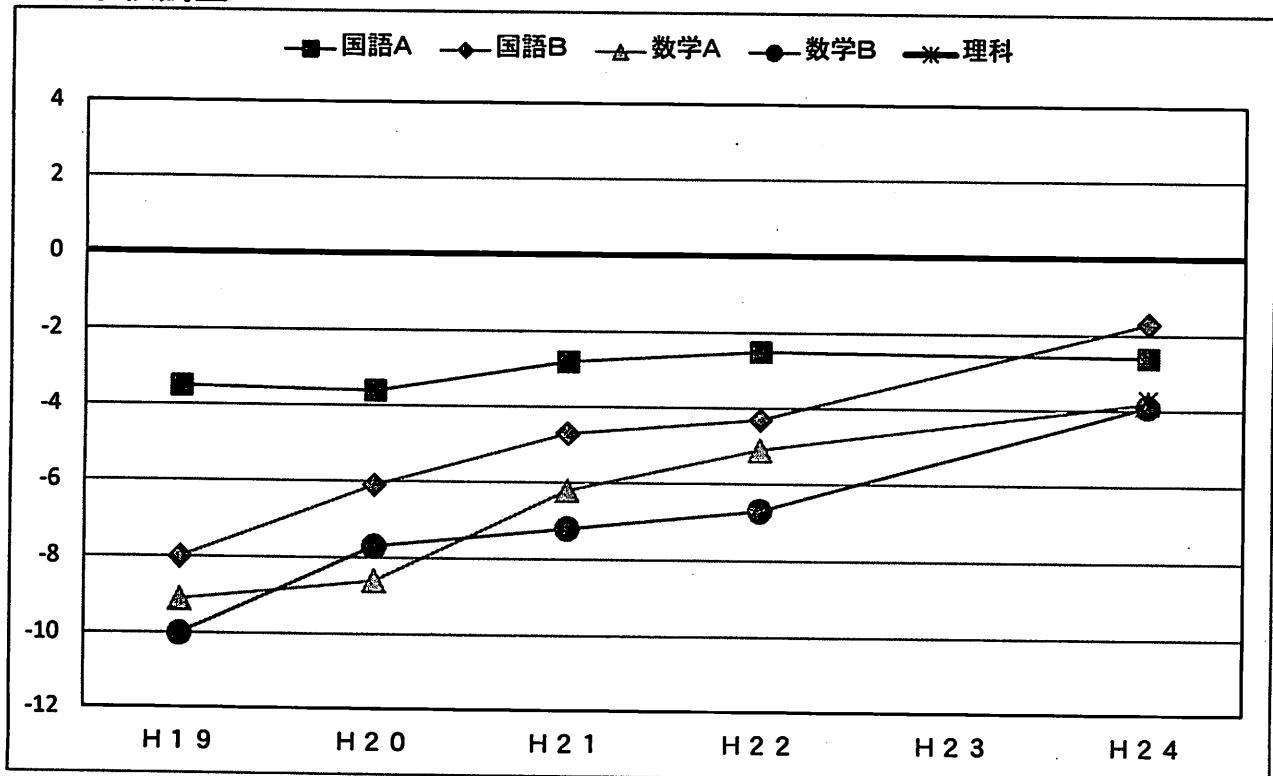
※平成23年度は全国学力・学習状況調査問題を活用した希望利用調査の結果を示している。

## [教科に関する全国平均正答率との差]

### 小学校調査



### 中学校調査



※縦軸は全国の平均正答率との差をポイントで示している。(平成23年度の全国の値はない。)

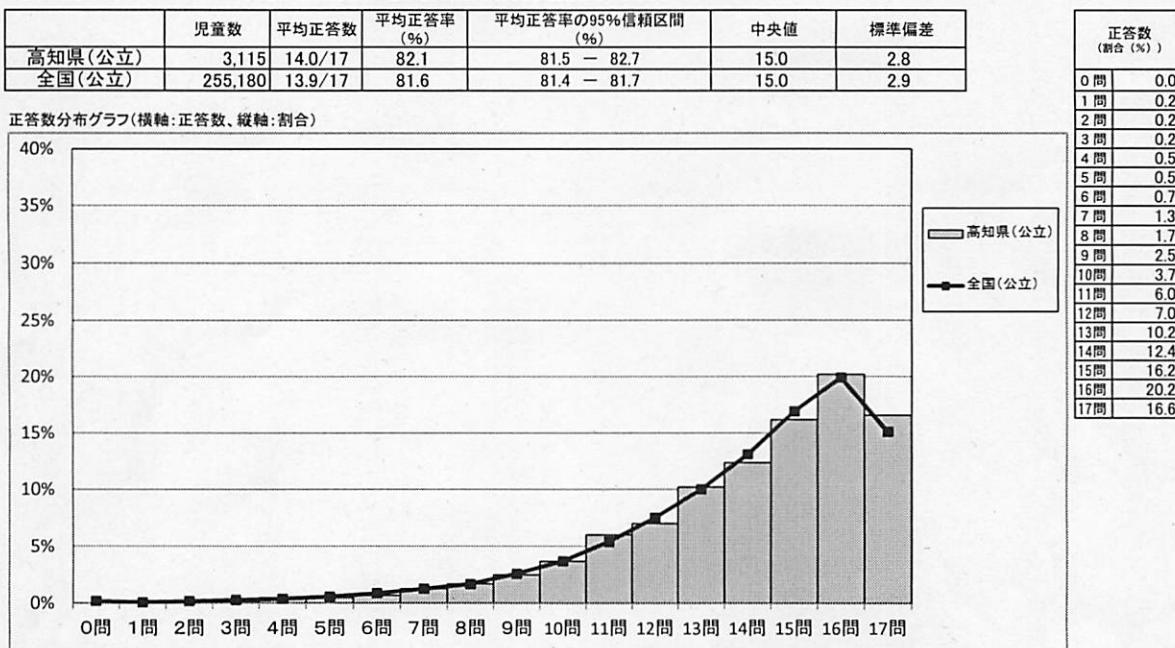
### 3 教科に関する調査の結果

#### 【小学校国語】

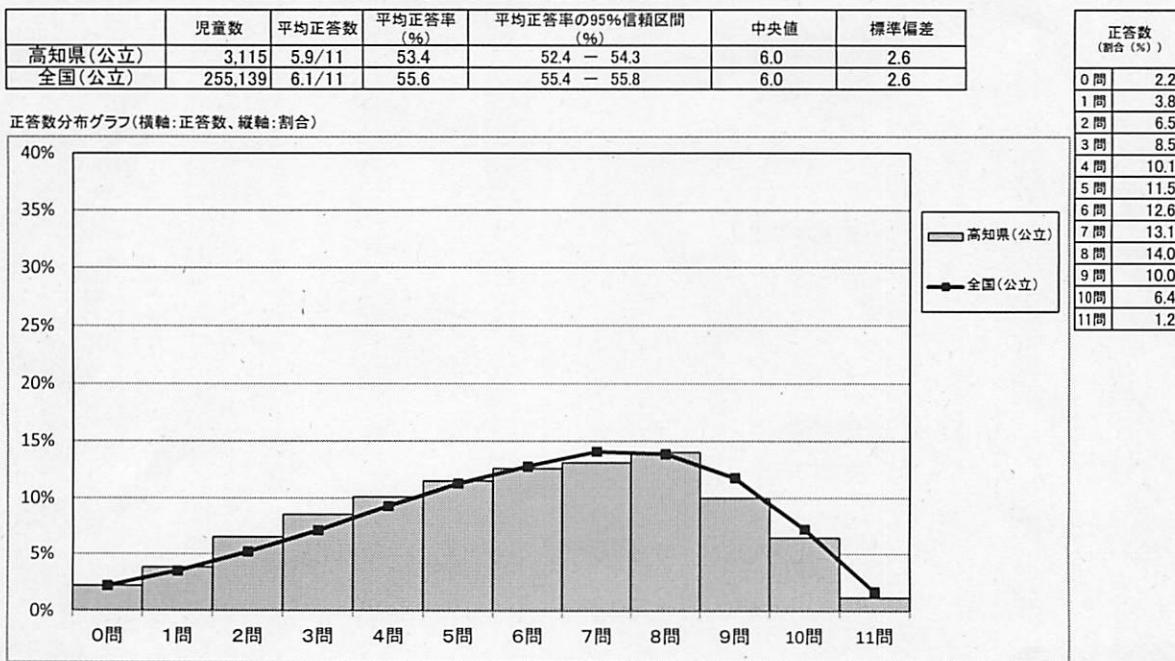
- 国語A（知識）の平均正答率は82.1%で、例えば、次のような課題が見られた。
  - ・狙いを明確にして質問をすること [2 64.8%]
  - ・目的や意図に応じ、必要となる事柄を整理して簡潔に書くこと [7 48.2%]
- 国語B（活用）の平均正答率は53.4%で、例えば、次のような課題が見られた。
  - ・手紙の構成を理解し、後付けを書くこと [1三 23.5%]
  - ・編集者の意図を捉えること [3二 46.3%]
  - ・複数の記事を結び付けながら読み、事実を基にして自分の考えをもつこと [3四 37.0%]



以下の値／グラフは、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値(推計値を含む)である。



以下の値／グラフは、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値(推計値を含む)である。



## 【小学校算数】

- 算数A（知識）の平均正答率は74.7%で、例えば、次のような課題が見られた。
  - ・場面と図とを関連付けて、二つの数量の関係を理解すること [3(1) 33.1%]
  - ・1に当たる大きさを求めるために、除法が用いられるこを理解すること [3(2) 44.5%]
- 算数B（活用）の平均正答率は58.1%で、例えば、次のような課題が見られた。
  - ・必要な情報を用いて、指定された高さにすることができるかどうかを判断し、その理由を記述すること [2(2) 22.3%]
  - ・はかりを適切に読み取り、与えられた条件を基に筋道を立てて考え、重さの求め方を記述すること [4(3) 32.7%]
  - ・表から適切な数値を取り出して割合の大小を判断し、その理由を記述すること [5(3) 24.8%]

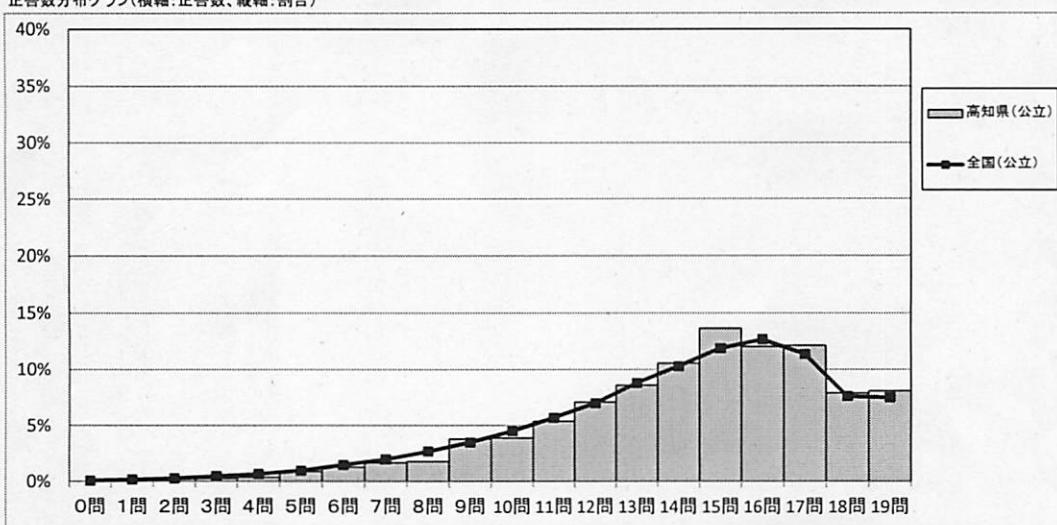
平成24年度全国学力・学習状況調査  
調査結果概況 [算数A 主として知識]  
高知県－児童(公立)

小学校調査

以下の値／グラフは、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値(推計値を含む)である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	平均正答率の95%信頼区間 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	3,116	14.2/19	74.7	73.9 — 75.6	15.0	3.4
全国(公立)	255,186	13.9/19	73.3	73.1 — 73.5	15.0	3.6

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



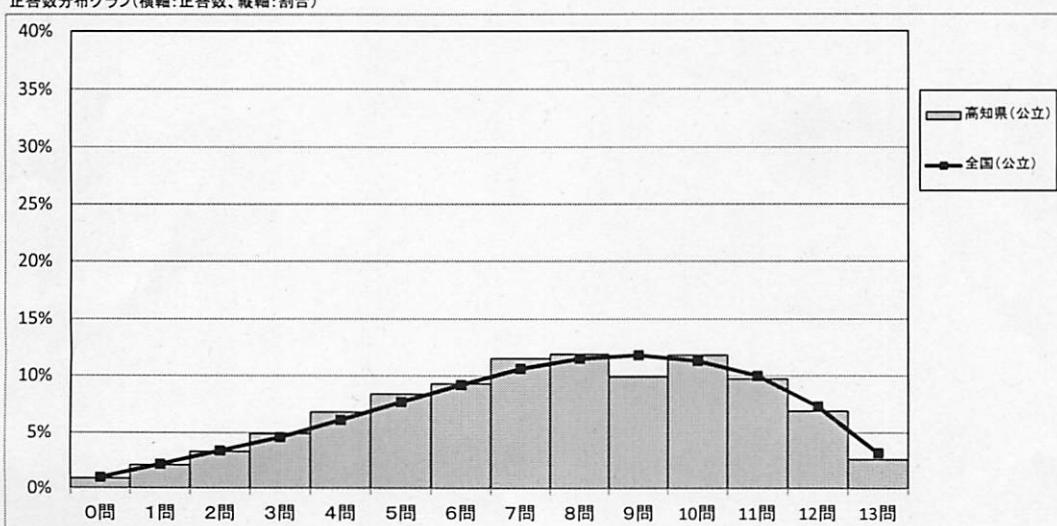
平成24年度全国学力・学習状況調査  
調査結果概況 [算数B 主として活用]  
高知県－児童(公立)

小学校調査

以下の値／グラフは、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値(推計値を含む)である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	平均正答率の95%信頼区間 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	3,114	7.5/13	58.1	57.1 — 59.1	8.0	3.1
全国(公立)	255,151	7.7/13	58.9	58.7 — 59.1	8.0	3.1

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



## 【小学校理科】

○理科A（知識）の平均正答率は70.2%で、例えば、次のような課題が見られた。

- ・虫眼鏡の適切な操作方法を身に付けること [2(1) 65.3%]
- ・方位磁針の適切な操作方法を身に付けること [4(1) 26.4%]

○理科B（活用）の平均正答率は55.3%で、例えば、次のような課題が見られた。

- ・植物の受粉と結実の関係を調べる実験について、結果を基に実験方法を改善して、その理由を記述すること [2(5) 33.4%]
- ・天気の様子と気温の変化の関係についてデータを基に分析して、その理由を記述すること [4(5) 14.0%]

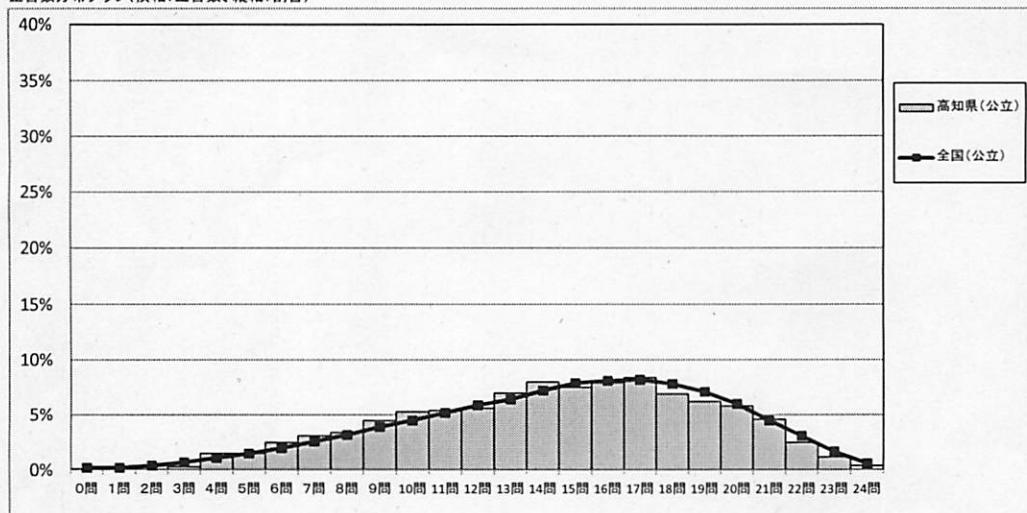
平成24年度全国学力・学習状況調査  
調査結果概況〔理科〕  
高知県一児童(公立)

小学校調査

・以下の値／グラフは、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値(推計値を含む)である。

	児童数	平均正答数	平均正答率 (%)	平均正答率の95%信頼区間 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	3,112	14.3/24	59.6	58.8 — 60.4	15.0	4.7
全国(公立)	254,825	14.6/24	60.9	60.8 — 61.1	15.0	4.8

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



### 〔参考〕

	平均正答率(%)		全国と高知県の差
	高知県(公立)	全国(公立)	
理科A	70.2	69.1	1.1
理科B	55.3	57.6	-2.3

## 【中学校国語】

- 国語A（知識）の平均正答率は72.5%で、例えば、次のような課題が見られた。
- ・比喩という言葉と結び付けて、表現の仕方を理解すること [3二 28.9%]
  - ・話し言葉と書き言葉との違いを理解し、適切に使うこと [4二 39.8%]
  - ・目的に応じて必要な情報を読み取ること [6二 38.9%]
- 国語B（活用）の平均正答率は61.6%で、例えば、次のような課題が見られた。
- ・相手の発言を注意して聞き、自分の考えを具体的に書くこと [1三 18.5%]
  - ・物語の場面の展開を捉えること [3二 34.4%]
  - ・物語の内容や登場人物の言動の意味などを捉え、自分の考えを書くこと [3三 55.5%]

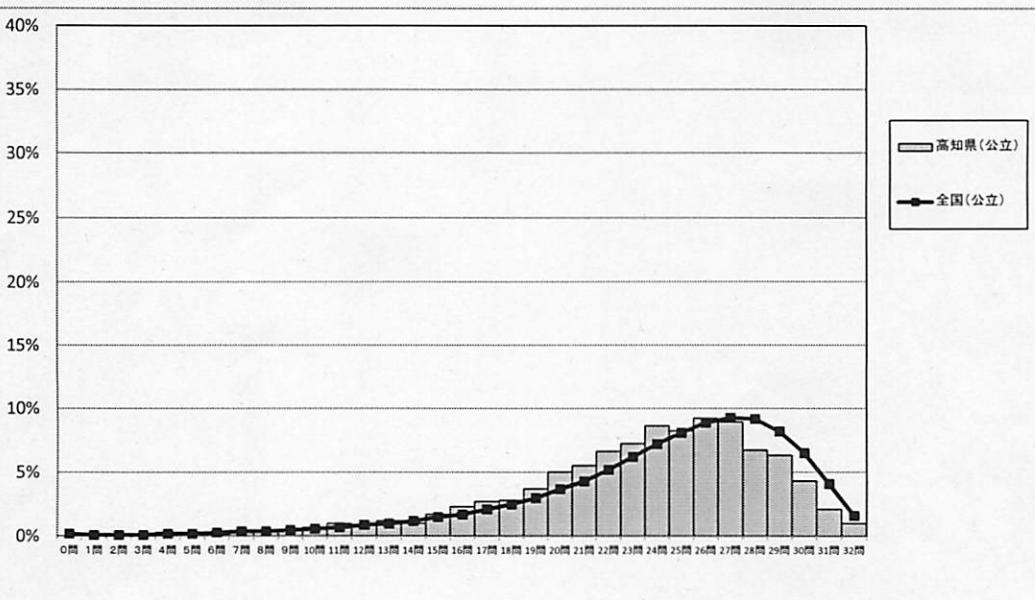
平成24年度全国学力・学習状況調査  
調査結果概況【国語A 主として知識】  
高知県－生徒(公立)

中学校調査

・以下の値／グラフは、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値(推計値を含む)である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	平均正答率の95%信頼区間 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	3,956	23.2/32	72.5	71.8 — 73.1	24.0	5.3
全国(公立)	424,157	24.0/32	75.1	75.0 — 75.2	25.0	5.5

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



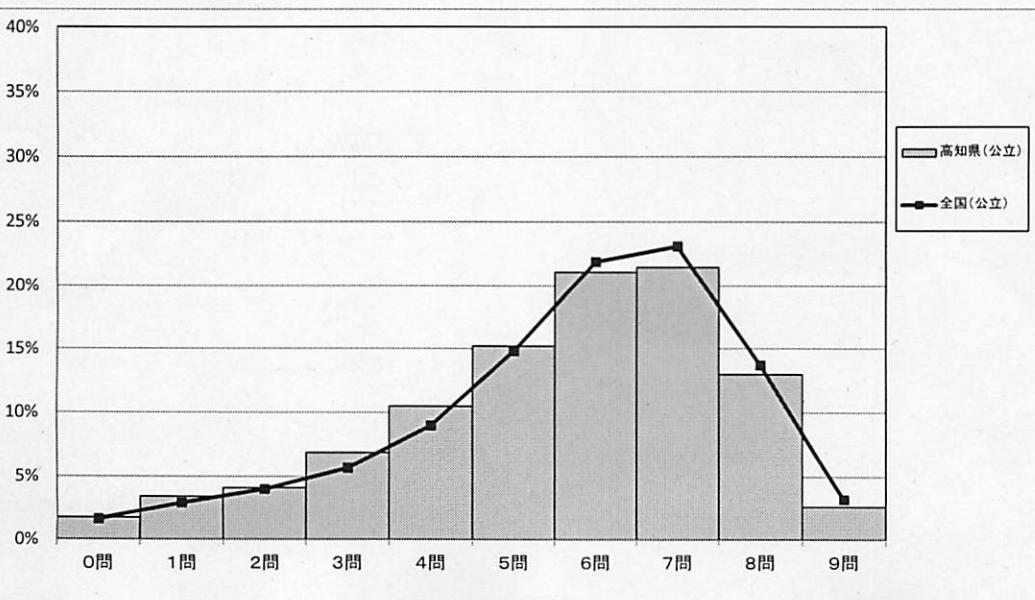
平成24年度全国学力・学習状況調査  
調査結果概況【国語B 主として活用】  
高知県－生徒(公立)

中学校調査

・以下の値／グラフは、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値(推計値を含む)である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	平均正答率の95%信頼区間 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	3,954	5.5/9	61.6	60.9 — 62.3	6.0	2.0
全国(公立)	424,258	5.7/9	63.3	63.2 — 63.4	6.0	2.0

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



## 【中学校数学】

○ 数学A（知識）の平均正答率は58.3%で、例えば、次のような課題が見られた。

- ・2つの数量の関係が一次関数になることを理解すること [12 32.3%]
- ・二元一次方程式の解とグラフの関係を理解すること [13 33.0%]
- ・資料を整理した図から最頻値を読み取ること [15(2) 33.4%]

○ 数学B（活用）の平均正答率は45.4%で、例えば、次のような課題が見られた。

- ・人工衛星の軌道の長さの差を求める計算を解釈し、数学的な表現を用いて説明すること [1(2) 7.6%]
- ・問題解決の方法を数学的に説明すること [5(3) 18.0%]
- ・図形の性質を数量の関係に着目して捉え直し、その特徴を捉え、数学的に表現すること [6(2) 13.3%]

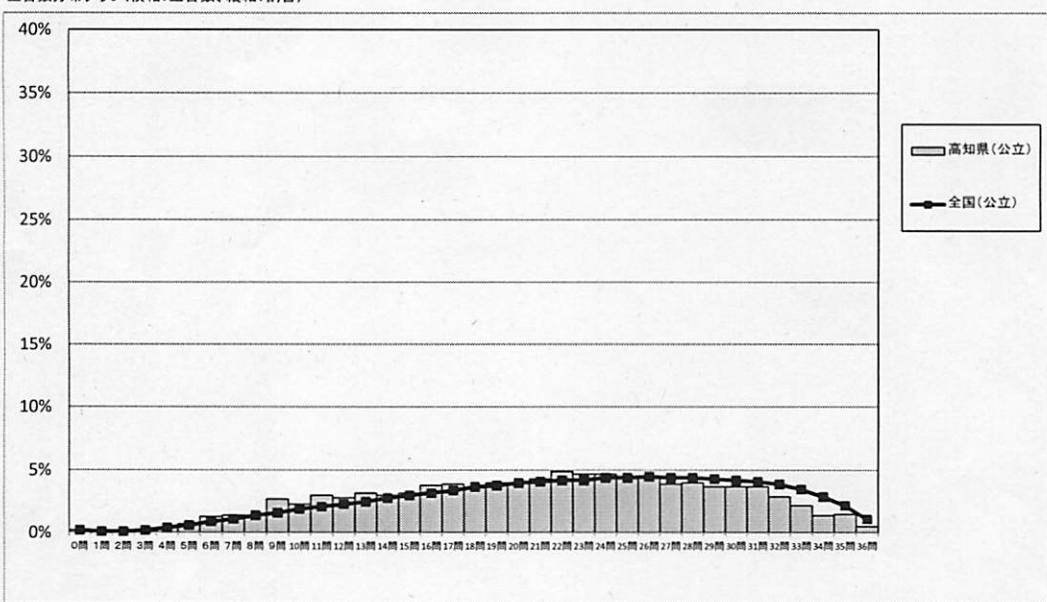
### 平成24年度全国学力・学習状況調査 調査結果概況 [数学A 主として知識] 高知県一生徒(公立)

中学校調査

以下の値／グラフは、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値(推計値を含む)である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	平均正答率の95%信頼区間 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	3,952	21.0/36	58.3	57.4 — 59.2	22.0	7.7
全国(公立)	424,379	22.4/36	62.1	62.0 — 62.3	23.0	7.9

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)



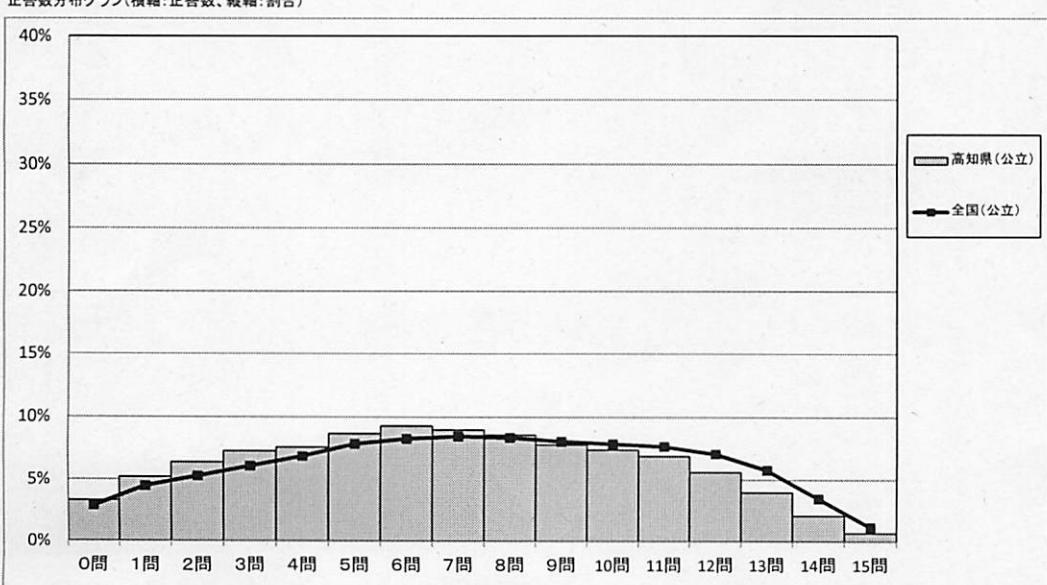
### 平成24年度全国学力・学習状況調査 調査結果概況 [数学B 主として活用] 高知県一生徒(公立)

中学校調査

以下の値／グラフは、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値(推計値を含む)である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	平均正答率の95%信頼区間 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	3,951	6.8/15	45.4	44.3 — 46.6	7.0	3.7
全国(公立)	424,373	7.4/15	49.3	49.2 — 49.5	7.0	3.9

正答数分布グラフ(横軸: 正答数、縦軸: 割合)



## 【中学校理科】

○理科A（知識）の平均正答率は51.8%で、例えば、次のような課題が見られた。

- ・電流計の読み方の技能を身に付けること[2(1) 37.5%]
- ・電力量を理解すること[2(6) 5.8%]
- ・浮力を理解すること[4(3) 30.1%]

○理科B（活用）の平均正答率は44.4%で、例えば、次のような課題が見られた。

- ・抵抗の直列つなぎ、並列つなぎなどに関する知識を活用して、他者の実験方法を検討し改善して、正しい実験方法を説明すること[2(2) 4.9%]
- ・地層などの知識を活用し、過去の火山活動が活発だった時期の回数についての他者の考察を検討し、根拠を示して改善した考察を説明すること[3(3) 7.0%]

### 平成24年度全国学力・学習状況調査

#### 調査結果概況 [理科]

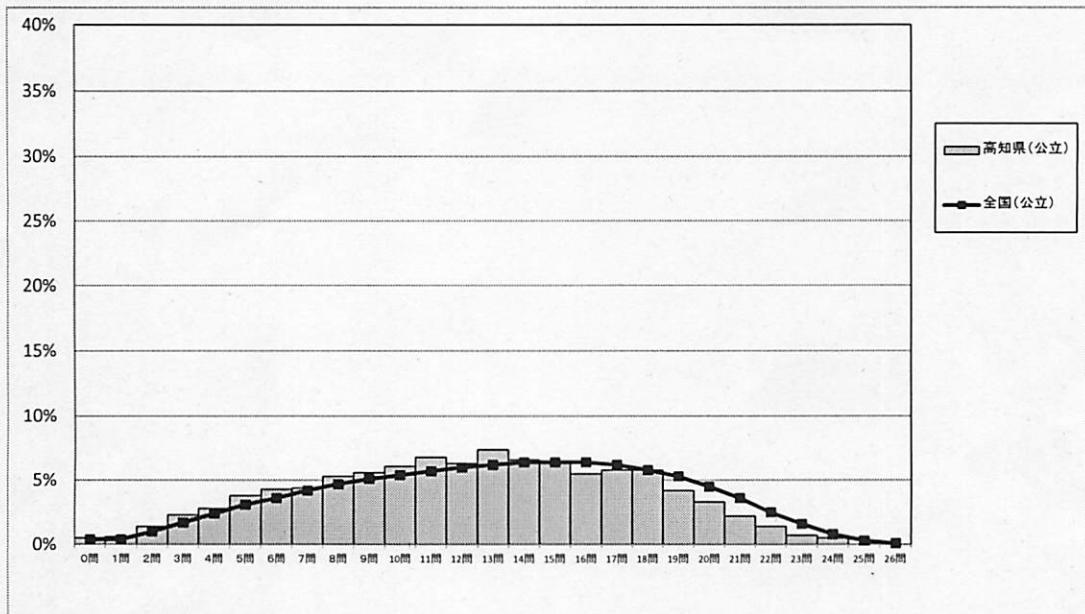
高知県一生徒(公立)

中学校調査

以下の値／グラフは、4月17日に実施した抽出調査の結果を集計した値(推計値を含む)である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	平均正答率の95%信頼区間 (%)	中央値	標準偏差
高知県(公立)	3,951	12.3/26	47.3	46.5 — 48.0	12.0	5.2
全国(公立)	424,320	13.3/26	51.0	50.9 — 51.1	14.0	5.4

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



#### [参考]

	平均正答率(%)		全国と高知県 の差
	高知県(公立)	全国(公立)	
理科A	51.8	56.1	-4.3
理科B	44.4	47.8	-3.4

#### 4 質問紙調査の結果（児童生徒質問紙）

##### 高知のキャリア教育の柱「社会性の育成」

###### 【将来の夢や目標を持っていますか】

\* 「肯定群」は、選択肢の「している・どちらかといえば、している」や「当てはまる・どちらかといえば、当てはまる」など、肯定的な選択肢を選択している場合を表している。

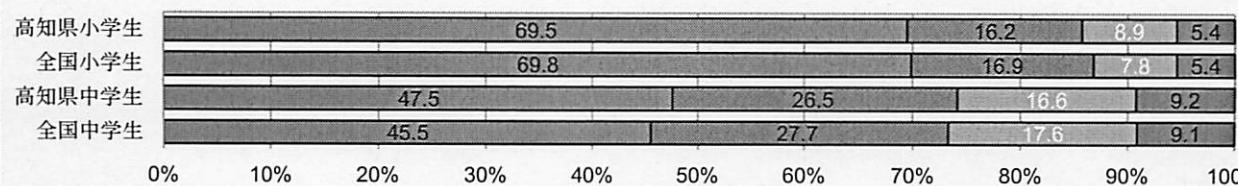
\* 文中の「ほぼ同じである」は、全国との差が±2ポイントの範囲内にあることを表している。

\* 本県の経年での比較は、H23年度は全国学力・学習状況調査問題を活用した希望利用調査のためH22年度と行っている。

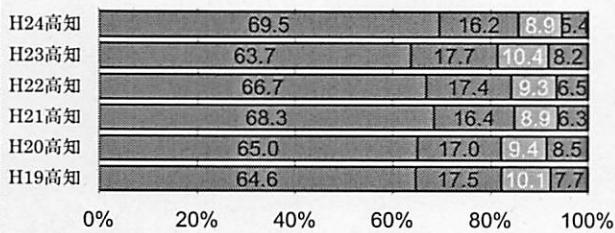
小・中学生ともに、肯定群の割合は、全国とほぼ同じである。本県のH22年度と比較すると、肯定群の割合は、小学生ではほぼ同じであり、中学生では2.6ポイント増加している。

（平成24年度調査結果）

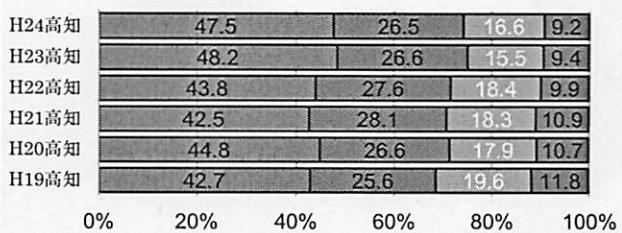
■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



〈高知県小学生経年〉



〈高知県中学生経年〉

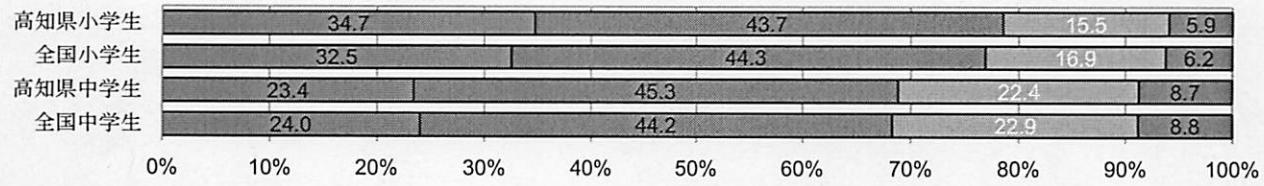


###### 【自分には、よいところがあると思いますか】

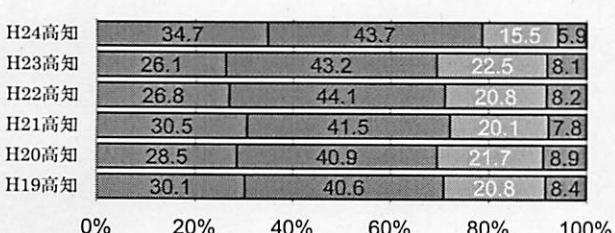
小・中学生ともに、肯定群の割合は、全国とほぼ同じである。本県のH22年度と比較すると、肯定群の割合は、小学生では7.5ポイント増加し、中学生では5.8ポイント増加している。

（平成24年度調査結果）

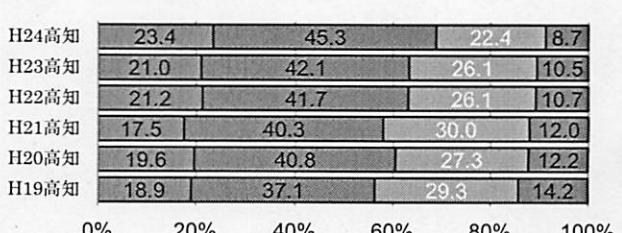
■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



〈高知県小学生経年〉



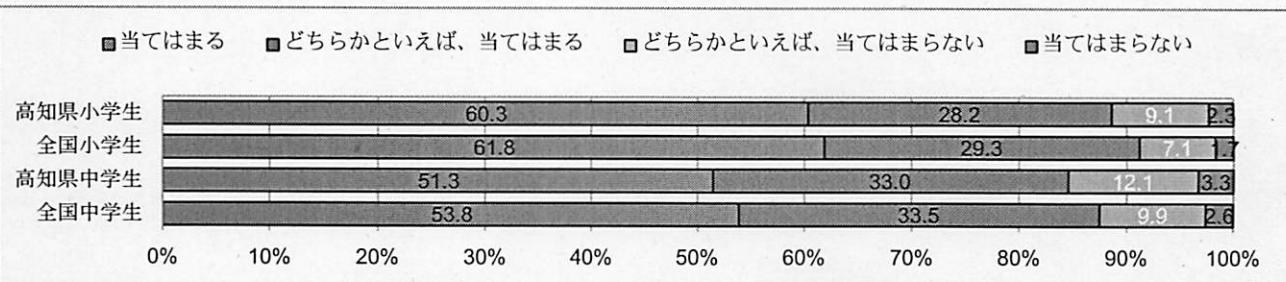
〈高知県中学生経年〉



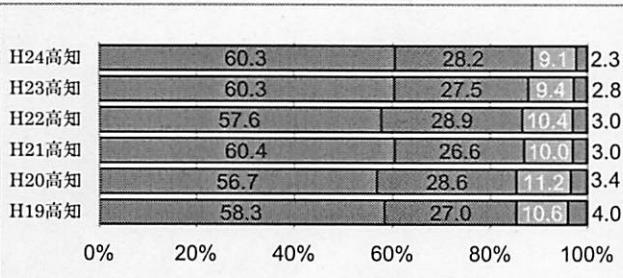
【近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか】

肯定群の割合は、全国と比較すると、小学生では 2.6 ポイント下回っており、中学生では 3.0 ポイント下回っている。

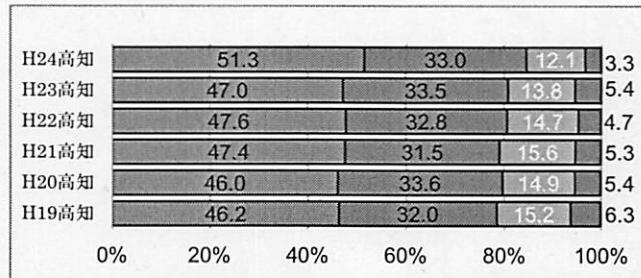
〈平成 24 年度調査結果〉



〈高知県小学生経年〉



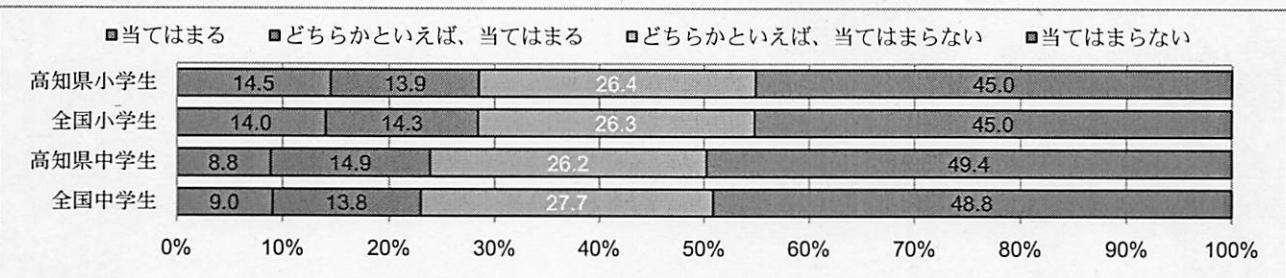
〈高知県中学生経年〉



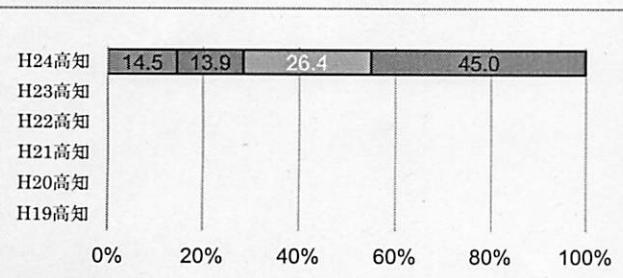
【将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか】

小・中学生ともに、肯定群の割合は、全国とほぼ同じである。

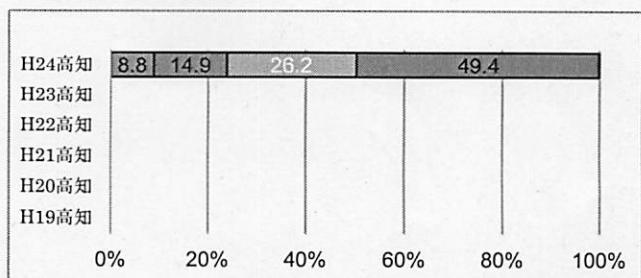
〈平成 24 年度調査結果〉



〈高知県小学生経年〉



〈高知県中学生経年〉

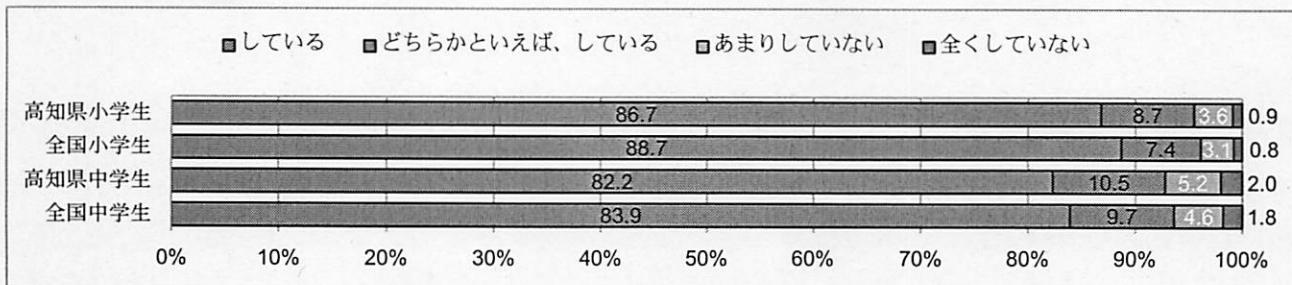


## 高知のキャリア教育の柱「基本的生活習慣の確立」

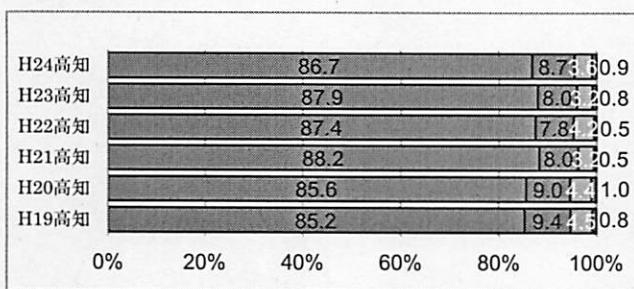
### 【朝食を毎日食べていますか】

小・中学生とともに、肯定群の割合は、全国とほぼ同じであり、過去5回の調査結果と比較しても、大きな変化は見られない。

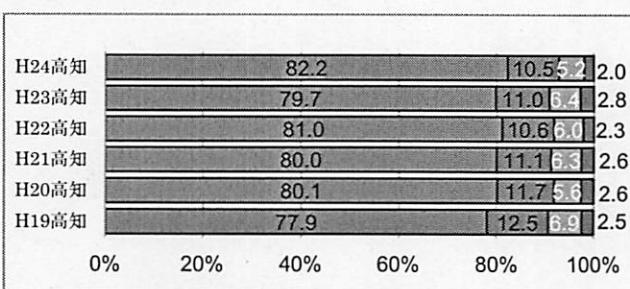
〈平成24年度調査結果〉



〈高知県小学生経年〉



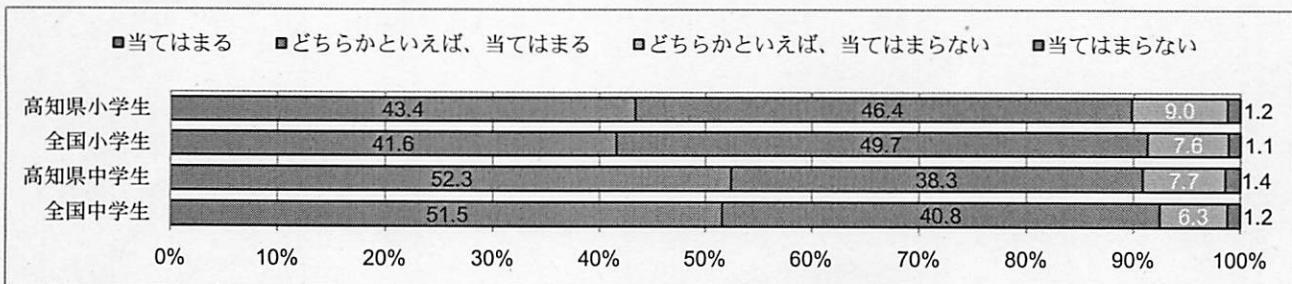
〈高知県中学生経年〉



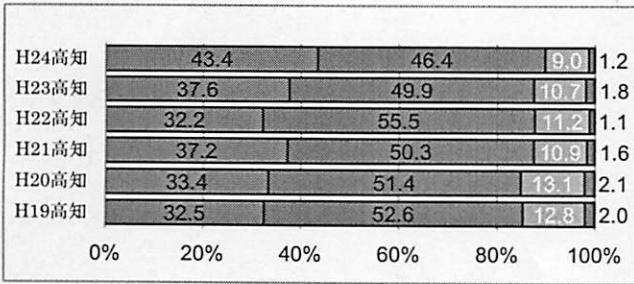
### 【学校のきまり（規則）を守っていますか】

小・中学生とともに、肯定群の割合は、全国とほぼ同じである。本県のH22年度と比較すると、肯定群の割合は、小学生では2.1ポイント増加し、中学生では2.6ポイント増加している。

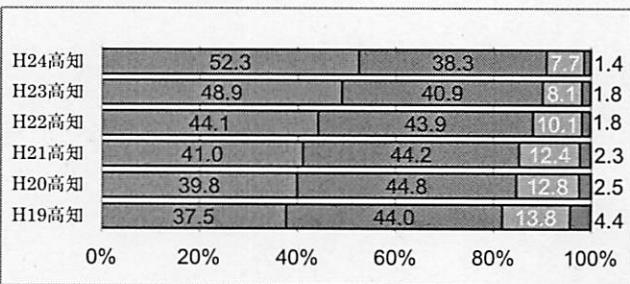
〈平成24年度調査結果〉



〈高知県小学生経年〉



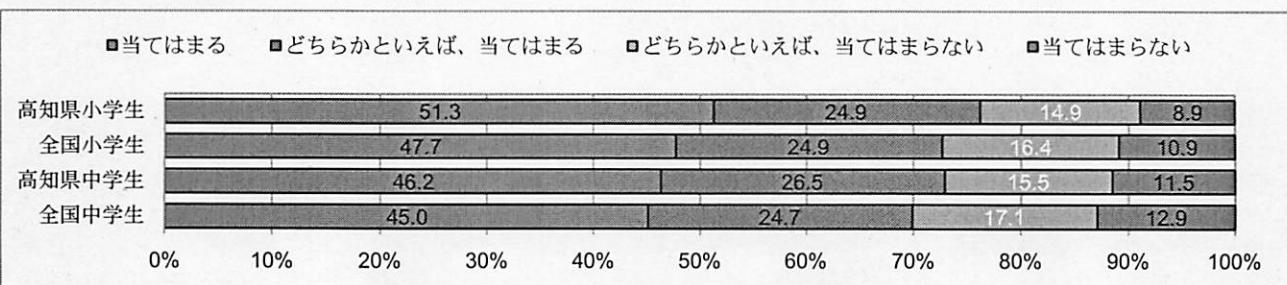
〈高知県中学生経年〉



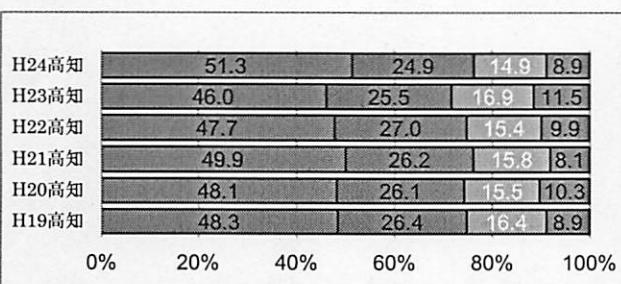
### 【読書は好きですか】

肯定群の割合は、全国と比較すると、小学生では 3.6 ポイント上回っており、中学生では 3.0 ポイント上回っている。

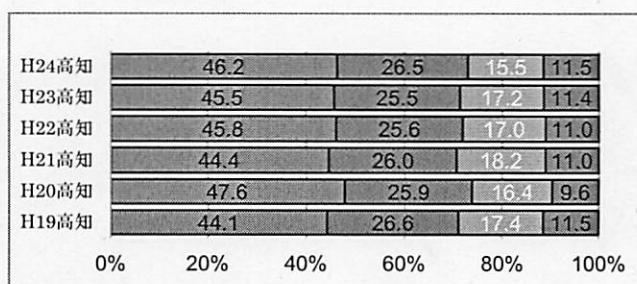
〈平成 24 年度調査結果〉



〈高知県小学生経年〉



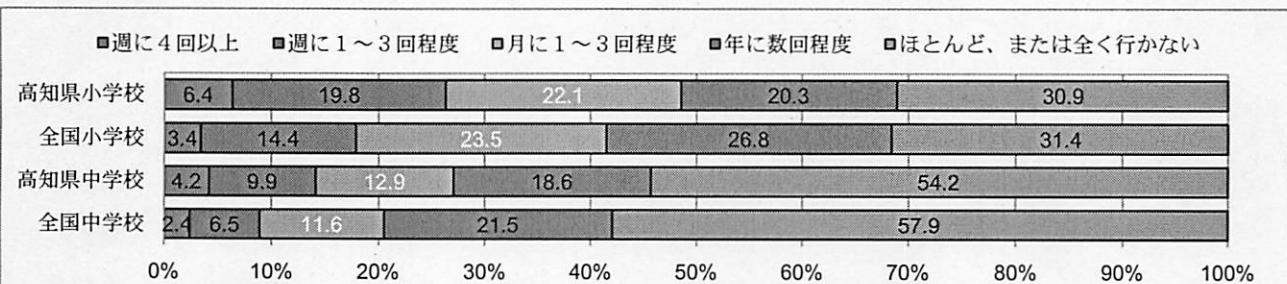
〈高知県中学生経年〉



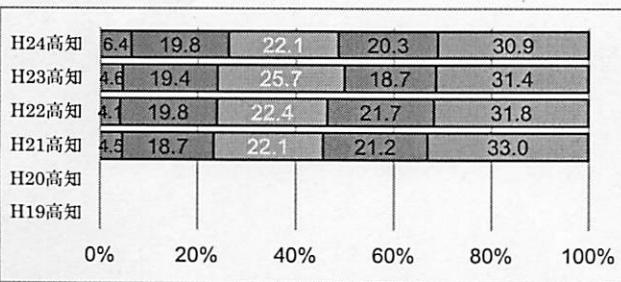
### 【本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へどれくらい行きますか（教科書や参考書、漫画や雑誌除く）】

「週に 1 回以上」行く割合は、全国と比較すると、小学生では 8.4 ポイント上回っており、中学生では 5.2 ポイント上回っている。

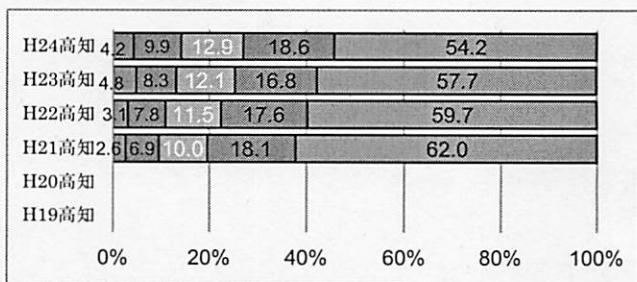
〈平成 24 年度調査結果〉



〈高知県小学生経年〉



〈高知県中学生経年〉

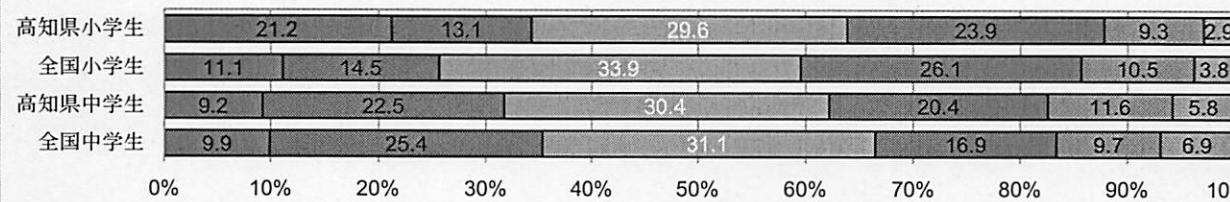


【学校の授業時間以外に普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師含む）】

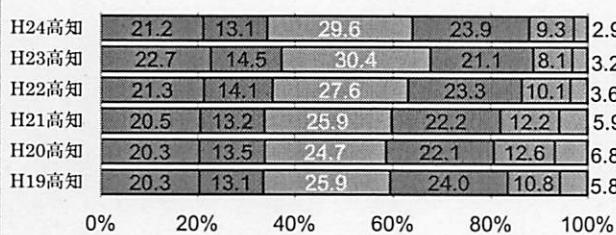
「毎日3時間以上」学習する割合は、全国と比較すると、小学生では10.1ポイント上回っており、中学生では、ほぼ同じである。本県のH22年度と比較すると、「全くしない」割合は、小・中学生とも減少傾向にある。

（平成24年度調査結果）

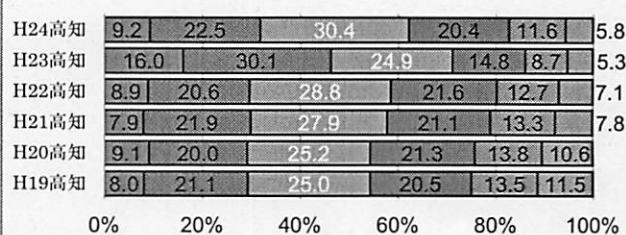
■3時間以上	■2時間以上、3時間より少ない	■1時間以上、2時間より少ない
■30分以上、1時間より少ない	■30分より少ない	■全くしない



（高知県小学生経年）



（高知県中学生経年）

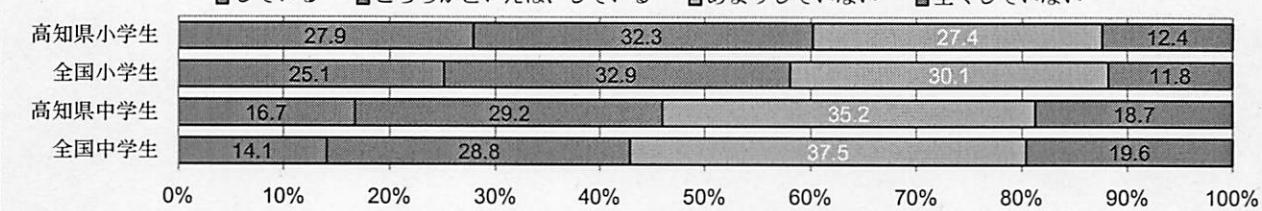


【家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか】

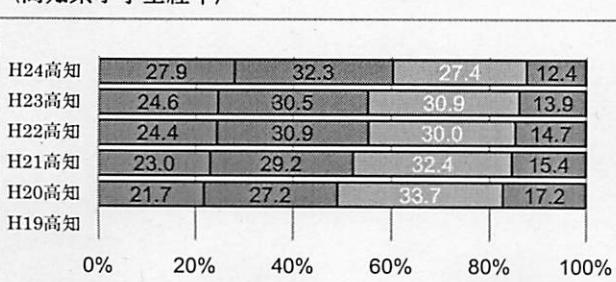
肯定群の割合は、全国と比較すると、小学生では2.2ポイント上回っており、中学生では3.0ポイント上回っている。

（平成24年度調査結果）

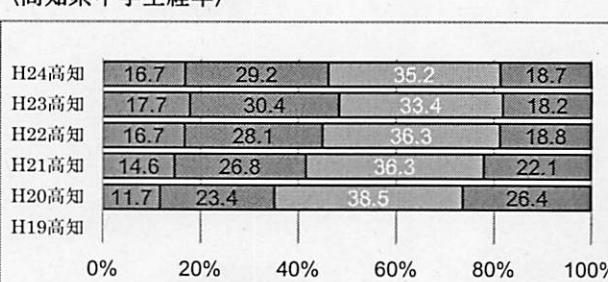
■している	■どちらかといえば、している	■あまりしていない	■全くしていない
-------	----------------	-----------	----------



（高知県小学生経年）



（高知県中学生経年）



- \*「肯定群」は、選択肢の「よくしている・どちらかといえば、している」や「よく行っている・行っている」など、肯定的な選択肢を選択している場合を表している。  
 \*文中の「ほぼ同じである」は、全国との差が±2ポイントの範囲内にあることを表している。  
 \*本県の経年での比較は、H23年度は全国学力・学習状況調査問題を活用した希望利用調査のためH22年度と行っている。

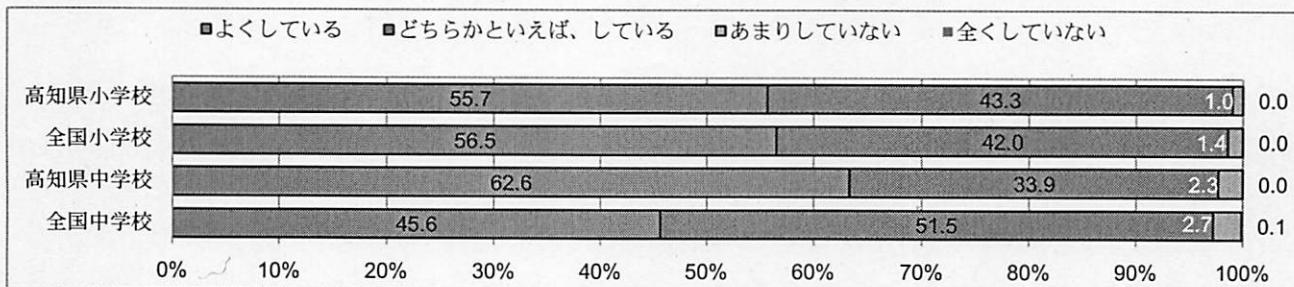
## 5 質問紙調査の結果（学校質問紙）

### 〔教職員の取組〕

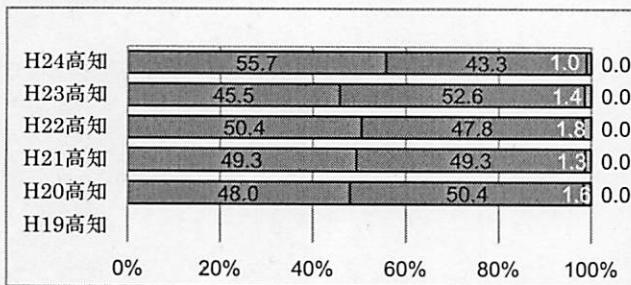
【学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組にあたっていますか】

小・中学校ともに、肯定群の割合は、全国とほぼ同じである。本県のH22年度と比較すると、「よくしている」小・中学校の割合は増加している。

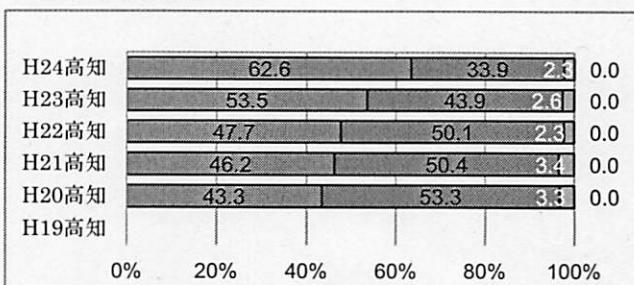
〈平成24年度調査結果〉



〈高知県小学校経年〉



〈高知県中学校経年〉

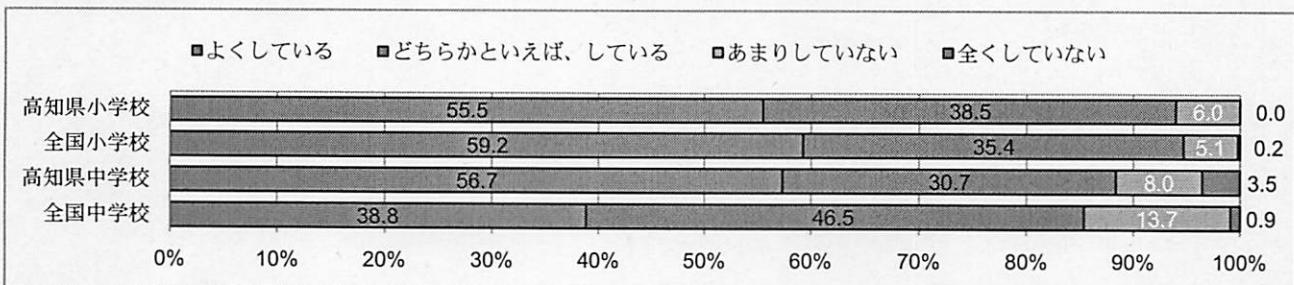


### 〔教員研修〕

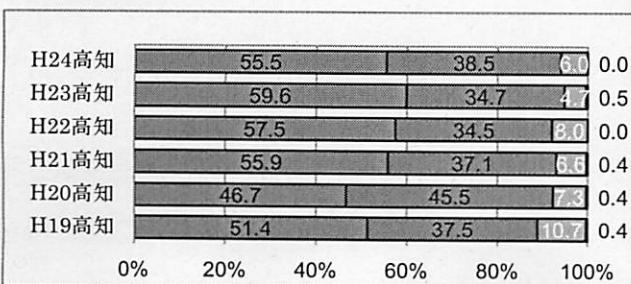
【模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか】

肯定群の割合は、全国と比較すると、小学校ではほぼ同じであり、中学校では2.1ポイント上回っている。

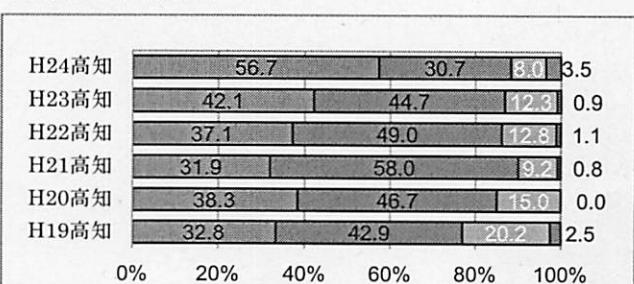
〈平成24年度調査結果〉



〈高知県小学校経年〉



〈高知県中学校経年〉

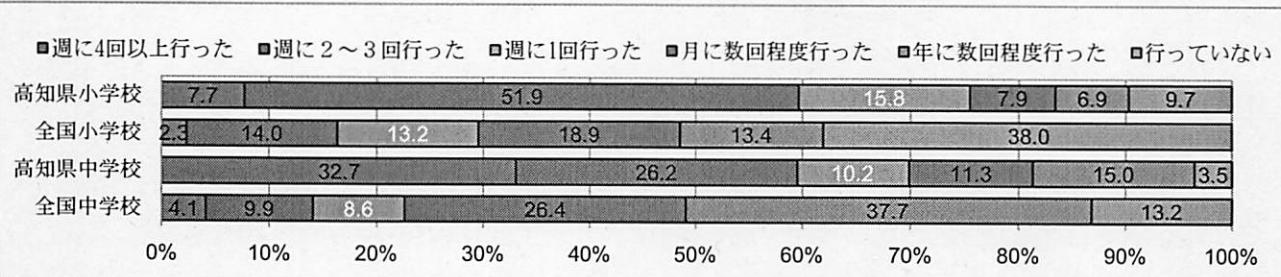


### [学力向上に向けた取組]

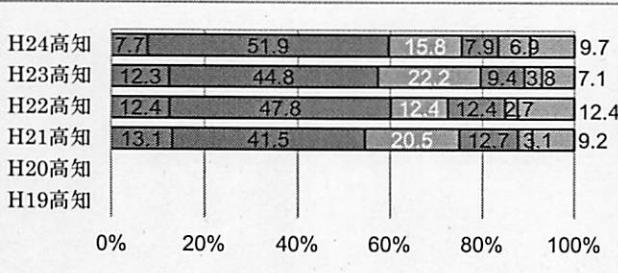
【第6学年の児童（第3学年の生徒）に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか】

週に2回以上実施している学校の割合は、全国と比較すると、小学校では43.3ポイント上回っており、中学校では44.9ポイント上回っている。

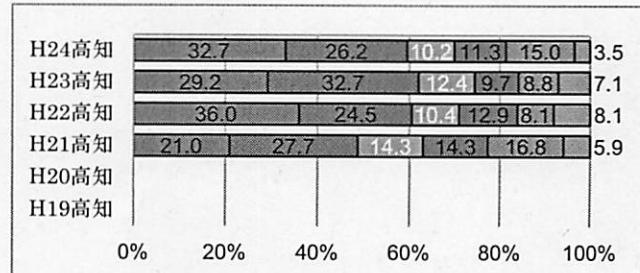
〈平成24年度調査結果〉



〈高知県小学校経年〉



〈高知県中学校経年〉

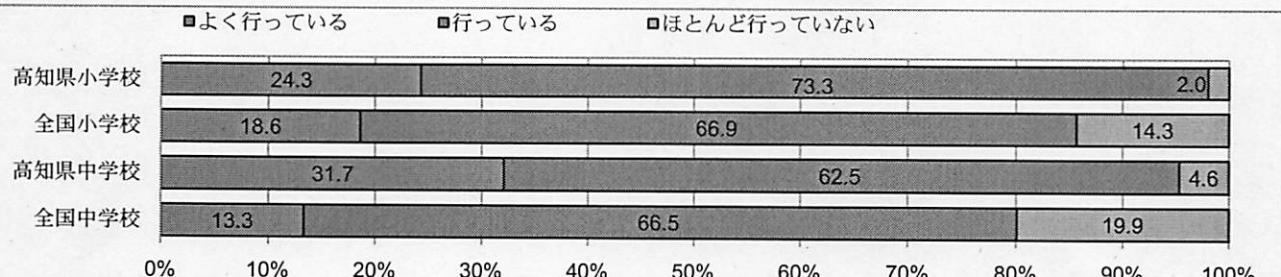


### [調査結果の活用]

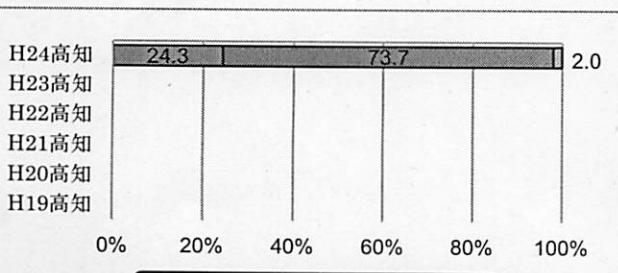
【平成23年度全国学力・学習状況調査の問題冊子等や独自の調査等の結果を利用し、具体的な教育指導の改善等を行いましたか】

肯定群の割合は、全国と比較すると、小学校では12.5ポイント上回っており、中学校では14.4ポイント上回っている。

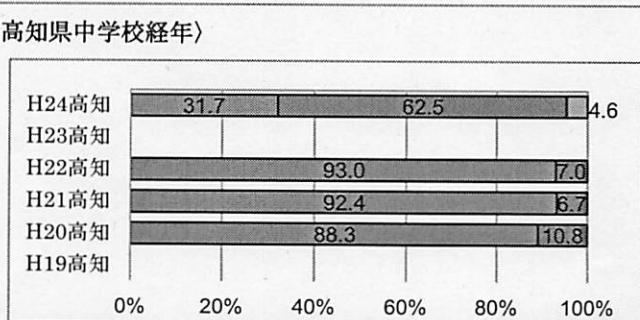
〈平成24年度調査結果〉



〈高知県小学校経年〉



小学校においては、新規項目



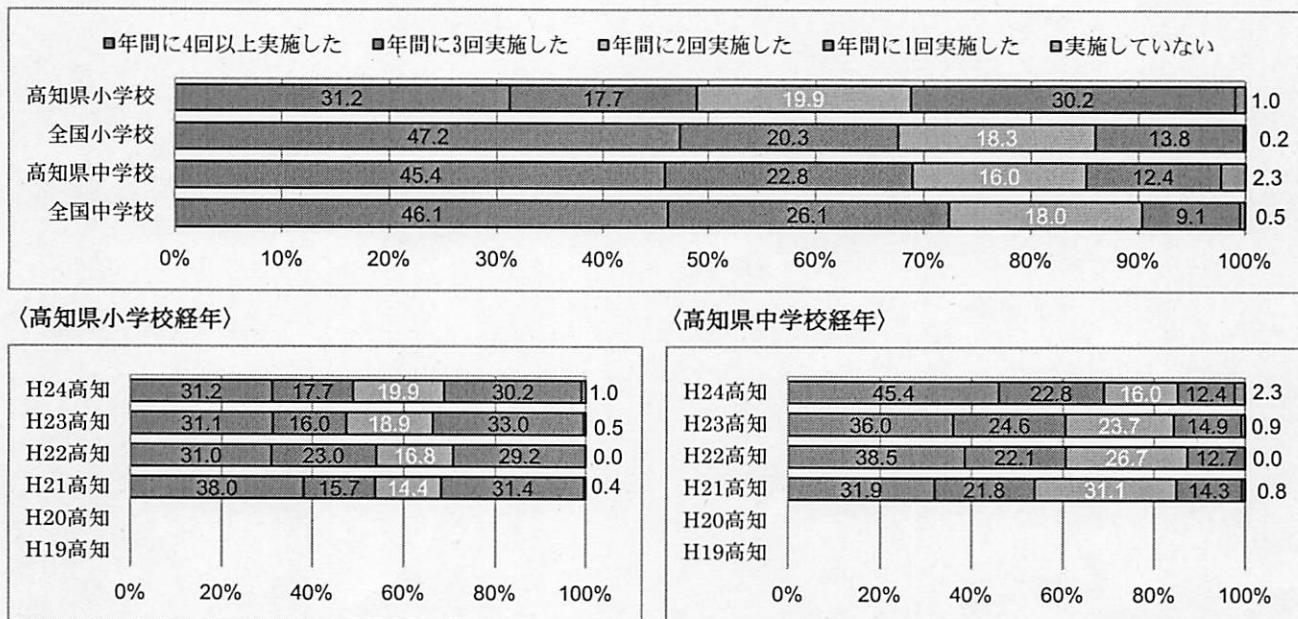
H23年度は、本項目はなし。  
H22年度までは「はい」「いいえ」の二択

### 〔開かれた学校〕

【保護者からの意見や要望を聞くために、学校として懇談会の開催やアンケート調査を前年度にどれくらい実施しましたか】

「3回以上実施した」と回答した割合は、全国と比較すると、小学校では18.6ポイント下回っており、中学校では4.0ポイント下回っている。本県のH22年度と比較すると、「3回以上実施した」と回答した割合は、小学校では5.1ポイント減少し、中学校では7.6ポイント増加している。

〈平成24年度調査結果〉



### 〔小学校教育と中学校教育の連携〕

【教科の指導内容や指導方法について近隣の小学校（中学校）と連携（教師の合同研修、教師の交流、教育課程の接続など）を行っていますか】

「よく行っている」と回答した割合は、全国と比較すると、小学校では9.8ポイント上回っており、中学校では9.4ポイント上回っている。

〈平成24年度調査結果〉

